

進学・進級に向けて、学習内容の積み残しをなくすために

～秋チェック(秋季学力測定)問題 「5年生」の結果から考える～

秋チェック問題について

「秋チェック(秋季学力測定)問題」では、小学校第3・4・5学年及び中学校第1・2学年における児童の学力定着状況を確認するため、今年度実施した岡山県学力・学習状況調査結果を基に、全国学力・学習状況調査の過去問題から以下の設問を中心に出題しました。

- ・前年度までの学習内容の定着に課題が見られた設問
- ・今年度の学習内容でつまずきが予想される設問

なお、小学校第3学年は、過去調査から出題できる設問が限られていることから、学習到達度確認テストを参考に問題を作成しました。

本号では、県教育委員会に提供された小学校5年生の国語A、算数Aの結果から見られた傾向を基に、今年度中に取り組みべきポイントをお伝えします。

提供された結果の傾向

国語における傾向

調査時の全国平均を上回った学校が多い設問

ローマ字の読み書きに関する設問、主語を問う設問、表現の工夫を問う設問、広告の編集の特徴を問う設問

調査時の全国平均を下回った学校が多い設問

漢字を正しく書いたり読んだりする設問
1文を2文に分ける設問

算数における傾向

調査時の全国平均を上回った学校が多い設問

加法や減法についての計算問題、整数倍を問う設問

調査時の全国平均を下回った学校が多い設問

分数を用いた計算問題、図形に関する設問
小数倍の場面を数直線に位置付けたり求めたりする設問

国語では、経年的に課題がある設問が改善している学校が多く見られましたが、算数では、小数倍、数直線への位置付け、図形等経年的な課題が解消できていない学校が多く見られました。また、国語に比べて、算数の方が学校による正答率の差が開いていました。

学力向上担当者が中心になり、市町村独自の調査等と併せて結果を分析し、当該年度で身に付けるべき学習内容を積み残すことがないように、取組を進めましょう。



岡山県マスコット
「ももっち」

秋チェック問題や振り返りプリント集等を効果的に活用し、全ての児童に当該年度までの学習内容が定着できるよう、必要に応じて個別指導を行うなど、積み残しをなくす取組を進めましょう。

定着度の測定

取組の焦点化

分析ツールを活用し、指導の成果と課題を把握しましょう。つまずきの大きい課題の内、児童が習得しやすいものを選択し、成功体験を積みませましょう。

日々の授業

「岡山型学習指導のスタンダード」に基づき、児童に身に付けさせたい力を明確にし、適切に評価できる授業づくりをしましょう。

教員と一緒に問題を解きながら、児童の実態に合わせて、問題の内容や留意点を説明しましょう。

補充学習や家庭学習を活用し、反復練習を徹底しましょう。
授業と家庭学習のつながりを意識したり、つまずきの大きい課題の類題を課したりすることが、課題解消につながります。

習熟の徹底